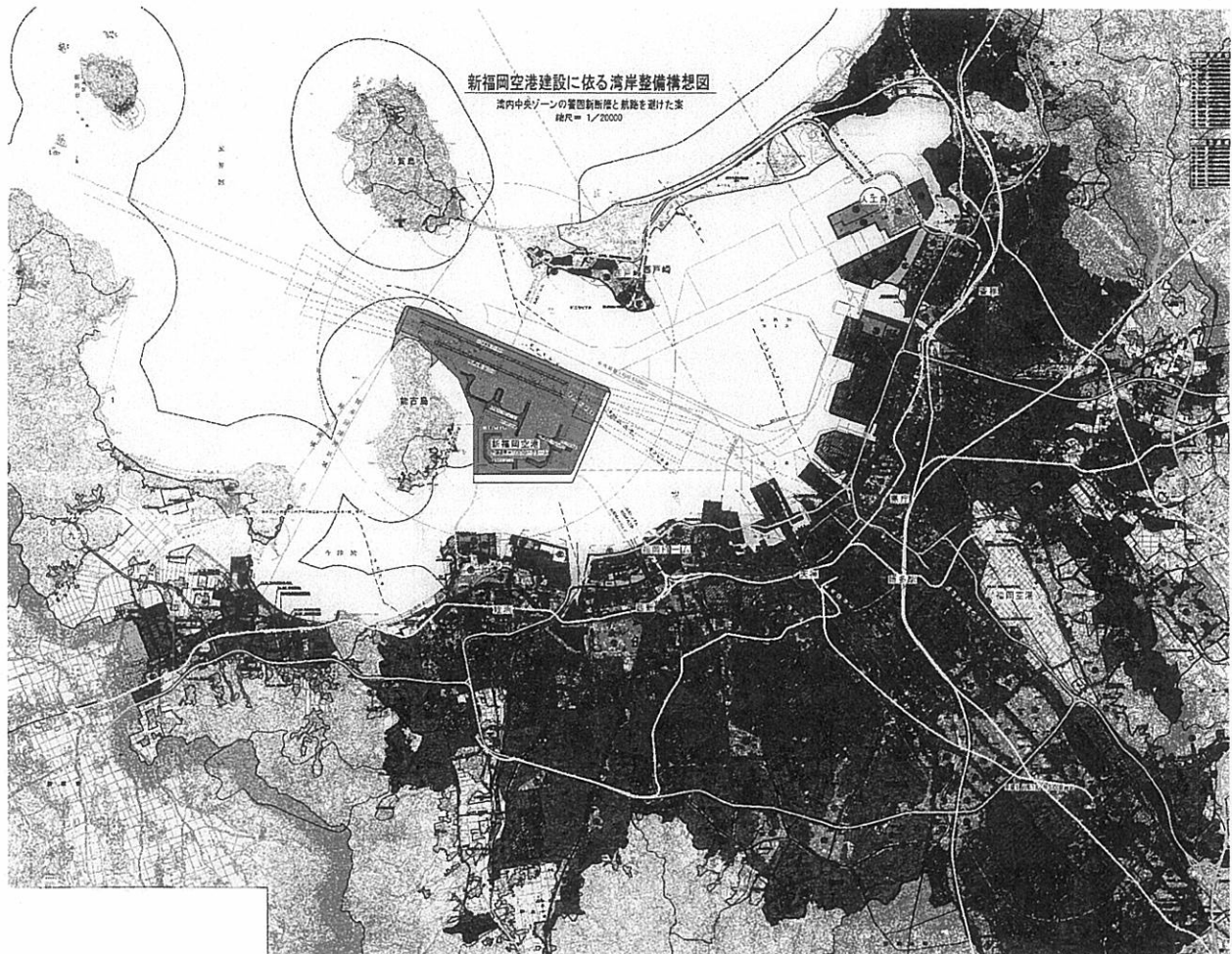


新福岡空港は博多湾能古島東海上で

新福岡国際ハブ空港を考える会
発表者 考える会代表 陣内正人

私達はアジアゲート、極東の24時間運用国際ハブ空港を目指します。
跡地は九州道庁等、都心の超高層ビル建設が可能になります。
そこで博多湾内中央ゾーンで空港はできないだろうか？



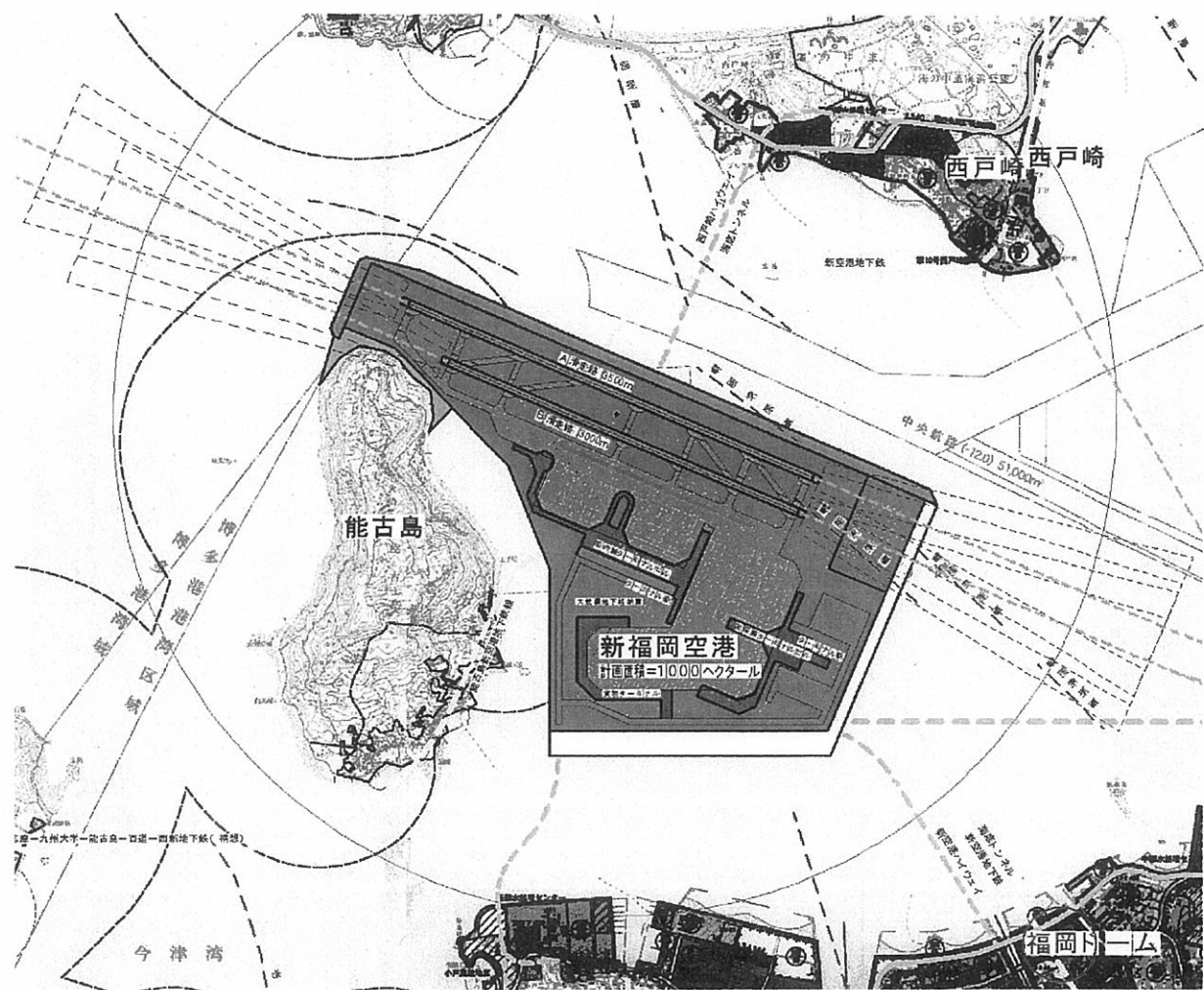
空港建設で湾岸交通網整備も連動した博多湾内中央ゾーンの優位性がある。

1. 穏やかな博多湾内で平均水深8mで干拓工事がしやすい。
2. 百道の福岡ドームと西戸崎を海底トンネルで直結。
3. 博多湾内をループする交通網で都市機能が充実。
4. 新空港と連動し人口島の存在価値が上昇。
5. 台風時外海と比べて欠航や塩害が少ない。
6. 福岡天神から6kmと現空港とほぼ同距離。
7. 糸島半島への地下鉄構想の可能性もある。

問題点 能古島をとりこまない為、航路等に多少課題が残る。
警備断層で空港ビルは免震構造、滑走路は乾燥土で干拓。

新福岡空港の概要

計画場所 福岡市西区能古島東海上博多湾内 面積1000ヘクタール



- 滑走路 北側 A 滑走路 3500 m 南側 B 滑走路 3000 m
- 空港ターミナル 国内線・国際線・貨物専用ターミナル
- 空港施設 地下鉄ターミナル駅 2箇所 (国内線、国際線)
- 地上駐車場 5000台 地下駐車場 2000台 飛行機格納施設
- 交通アクセス 市営地下鉄乗入 西新～新空港約 5km
- 新空港～西戸崎 5km
- 都市高速道乗入 百道～新空港約 4km
- 新空港～西戸崎 6km 小戸～新空港約 3km
- 主要地距離 西鉄福岡天神 直線 6km 地下鉄で 15分程度

総事業費

総事業費 7000億円は民間資金 = PFI 事業による
空港ビル・保安施設・地下鉄・海底道路工事等含む

新福岡国際ハブ空港を考える会
発表者 考える会代表 陣内正人